

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2008-174275(P2008-174275A)

【公開日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-9817(P2007-9817)

【国際特許分類】

B 6 5 D 85/50 (2006.01)

B 6 5 D 77/00 (2006.01)

B 6 5 D 75/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 85/50 G

B 6 5 D 77/00 A

B 6 5 D 77/00 C

B 6 5 D 75/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

合成樹脂製シートを折り畳んで形成した袋状の本体(1)と、本体(1)の上方に設けられた一対の取手(2)とから構成される切り花用包装袋であって、

本体(1)は、長手方向の下縁(10)について線対称に形成され、その長手方向の前端部、後端部および後端部と取手(2)をむすぶ上縁が封止され、下縁(10)、後端部および後端部と取手(2)を結ぶ上縁が筒体を構成する切り花用包装袋。

【請求項2】

前端部近傍に、下縁(10)から上方に延出する前方止め部(3)が設けられたことを特徴とする請求項1の切り花用包装袋。

【請求項3】

後端部近傍に、下縁(10)から上方に延出する後方止め部が設けられたことを特徴とする請求項1または2の切り花用包装袋。

【請求項4】

後方止め部が複数設けられたことを特徴とする請求項3の切り花用包装袋。

【請求項5】

後端部近傍に上縁から下方に延出する切込線(6)が設けられたことを特徴とする請求項1ないし4のいずれかの切り花用包装袋。

【請求項6】

後端部に開口が設けられたことを特徴とする請求項1ないし4のいずれかの切り花用包装袋。

【請求項7】

取手(2)と前端部とをむすぶ上縁に一対の帯体(11)が設けられたことを特徴とする請求項1ないし6のいずれかの切り花用包装袋。